

わたぼうし



福岡県若年性認知症サポートセンター

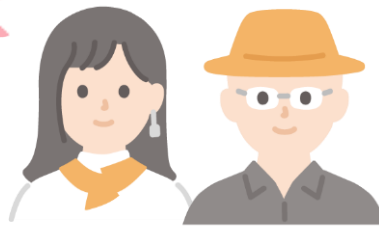
令和4年度、若年性認知症本人交流会(筑豊地区)を11月17日に福智町公民館方城分館で開催しました。本人・家族や支援者の29名が参加し、終始穏やかな雰囲気で行うことができました。

丹野さんのお話を聞いて自分の日頃の対応を反省しました。ご本人に決めてもらうことの大切さを感じました

参加者の声

たくさんのことに気づかされた
交流会でした

他のご家族の話聞いて参考になることが
あり良かったと思いました



「自分で決めるから自分で行く」という
言葉が心に残りました

地域	日時	会場	定員
北九州		終了	
筑豊		終了	
筑後	令和5年1月12日(木) 13:00~15:00	山川市民センター (みやま市山川町尾野 1706 番地 2 号)	50名
福岡	令和5年3月17日(金) 13:00~15:00	福津市図書館 (福津市中央1丁目1番2号)	50名

申し込み方法

参加希望の方は、参加希望地域・氏名・電話番号・住所・メールアドレスを記入の上、FAX または郵送していただくか、電話またはメールでお申し込みください。

TEL:0930-26-2370

FAX:0930-37-1873

E-mail:jakunenfukuoka@gmail.com

郵送:〒824-0004

福岡県行橋市大字金屋 649-1

福岡県若年性認知症サポートセンター

News

ピアサポーターとして活動している方にインタビュー



Q. ピアサポーターをする時に何が不安でしたか？

ずっと電車に乗ってなかったので、着けるか心配だった。自分の殻に閉じこもっていたので殻を破りたいと思った。殻を破りたいと思ったので不安はなかった。

Q. ピアサポーターをやったどうだった？

誰かと一緒ではなく一人で失敗しても目的地に行けるようになって、行動範囲が広がった。落ち込むことが少なくなった。笑顔がでるようになった。前向きに物事が考えられるようになった。

Q. 今後何をやって行きたいか

自分の体験を同じ病気の人に話したい。まずは福岡県内からそして全国へ。

Q. 診断後の人と話すため病院に行ってもいいか

診断後、自分も落ち込んだので自分の体験を話したい。人と話をするのが好きだから、話をしたい。



受託法人：特定非営利活動法人たすけ愛京築

お問い合わせ先

TEL：0930-26-2370

〒824-0004

FAX：0930-37-1873

福岡県行橋市金屋649-1

E-mail：jakunenfukuoka@gmail.com



メール



ホームページ